



例会日：水曜日
第1・第2 夜間・18:30～
第3・第4・第5 昼間・12:30～
例会場：華月殿 和歌山市屋形町 2-10
事務局：〒640-8227 和歌山市西汀 26 経済センター 7F
TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html
E-mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp
会長 津川善昭 幹事 溝落和作
クラブ会報委員長 溝落和作 副委員長 中岡隆文



本日の例会
4月1日(水)
18:30～華月殿

ロータリーソング：君が代・われ等
行事：米山奨学生卓話 姜学妍様
「私の留学観」

次回の例会
4月15日(水)
12:30～華月殿

行事：外部卓話 例会委員会
国際ロータリー第2640地区
地区代表幹事 桃田 陸彦様
「ロータリーの素晴らしさ」

先週例会報告 ゲスト：妹背山護持顕彰会 かたりへの会 会長 小林 護様 副会場監督 山口 幸也

会長報告

津川善昭会長

和歌山県公館での例会、例会委員会、親睦委員会の皆さんにお世話頂き有難うございます。
素晴らしい庭園を望みながらの例会脳裏に焼き付けておきます。
本日、和歌の浦まちなびの会副会長の小林 護先生に万葉の和歌の浦を案内頂きます。先生宜しく申し上げます。
4月7日、熊本東南ロータリークラブ25周年記念式典に参加される皆さん体調に十分気をつけて下さい、元気で楽しんできたいと思います。

幹事報告

溝落和作幹事

本日の幹事報告はございません。

ココロ箱

津川君・例会委員会・親睦委員会、ご苦勞様です。
溝落君・万葉の勉強をさせていただきます。
山口君・会場監督の代理、皆様ご苦勞様です。
神谷君・昨日のゴルフ同好会で準優勝させていただきました。
吉田君・夫婦で初めて参加させていただきました。
よろしくお願ひ申し上げます。
早田君・和歌浦ようこそ。こ連れてで失礼します。
和田(薫)君・東南ゴルフコンペ、優勝しました。

和歌浦の歴史見学 玉津島神社・奠供山・妹背山



	ニコニコ	米山奨学金	ローリー財団	東南育英会
累計	1,542,193	333,000	573,400	18,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	42名	3/27	28名	70.00%
出席免除会員	2名	3/11	37名	92.50%

妹背山の経石調査に参加して
養珠院（お萬の方）の願い 小林 護先生

「三断橋、渡りて拝む多宝塔、藩祖の母の御声聞こゆる」
市長賞、短歌・山路弘二(和歌山市大谷)2005年12月23日。

1. 妹背山の経石埋納に込められた平和への願い。

- 殺した者には「滅罪生善」、殺された者には「抜苦与楽」（万人に成仏を）
- ◎鎌田実 著「幸せさがし」・・・失ったものは、いつまでもよくよ考えない。
- ◎瀬戸内寂聴・・・9・11のテロについて。
- ◎柴田鉄治 著「南極ってどんなところ」・・・日本の生きる道は一？

2. 息子、頼宣の妻に八十姫（瑤林院）を、の願い。

加藤清正が法華経の敬虔な信者であることを知っていたお萬は、その娘は間違いなく立派な嫁になってくれると信じた。家康の同意を得て、特使 三浦為春が九州の加藤清正を訪問し、その縁談をまとめた。（1610年、八十姫9歳、頼宣8歳）

◎1611年3月28日、二条城での家康と豊臣秀頼の会見に同行した清正は、その帰り、船中で発病し、同年6月24日熊本で死去した。（51歳）

◎加藤家に、家康側の清正毒殺説が強まり。・・・（当時秀吉恩顧の初大名も消えている）

浅野長政 1611年4月。その息子幸長 1613年(38歳)で死去。

加藤家は八十姫を徳川家に嫁ぐことに大反対。両家険悪な関係になる。

◎八十姫の決意・・・「もう戦いは起こしてはならぬ。江戸方も大坂方も共に和睦まじくして、天下を安泰に治めることが大切です。亡き父もそれを望んでいると思います。過ぎ去りし事は、一切心にかけて、徳川家に縁づき、すべて円満になりますよう、心がけたいと思います。」姫17歳、駿府城へ嫁ぐ。（頼宣16歳）（1617年）

◎八十姫（瑤林院）・・・1666年1月24日 江戸紀州家中屋敷で死去（66歳）

法号・・・瑤林院殿浄秀日芳大姉、墓所・・・報恩寺（その息子光貞の創建）

3. 法難への抵抗と子供への願い

1608年幕府より、折伏禁止のお触れあり。日遠はこれでは、宗教活動は出来ないと家康に抗議した。家康はこれに激怒し、日遠を張り付けにせよと命令した。これに対しお萬の方は夫家康に対し、日遠上人赦免を「不借身命殉教の決意」で説得した。《お萬の方33歳・長福丸(頼宣)8歳・鶴千代丸(頼房)7歳》

◎日遠上人処刑前夜・・・お萬の方の説得も空しく、処刑前夜となって、お萬の方は二人の子供を前に、今夜限りでお前達と別れることになるが、と前置きして「二人はやがて、一国一城の主君となる身なれば、母が常づね申すように、仏の道にいそしみ、信心を怠らず、政には仁政[民の立場を思いやる政治]を行い、さすが法華経帰依のお萬が、育て申せし人物ぞと、幾千代かけての語り草ともなるよう、ひたすらお心にかけてよ」と諭した。二人は「母上様のご教訓、必ずお守り致します。」と答えたという。

◎深夜二人は、父家康を説得。日遠処刑を免れる。

4. 七面山へ、女性初登りに込めた、男女平等への願い。

1619年8月頼宣の和歌山入城と、家康3回忌を済ませた後、七面山初登りを果たした。（養珠院42歳）。

当所、登山の申込に対し、山の僧侶達は、「古来女人禁制の山なので、どうぞお見合わせを」。しかし養珠院は「仏の慈悲は平等であり、法華経の成仏には、男女の区別あらざる筈。もし、神罰を受くとせば、此の身一人にてお受け申すべし。末代の女人の為に、登り初めを致すであろう。」なお、養珠院の七面山女性初登りについては、日遠上人の理解があったと言われている。

5. 家康他界後の、養珠院の年金と徳川幕府存続の願い。

◎幕府より・・・「お扶持米」として、年2,000俵（現在約2,400万円）その大部分は、宗門の為と難民救済に当てられた。

◎紀州侯より・・・「御化粧料」として、年額500両（現在約5,000万円）その大部分は、豊臣家没落後の大坂方浪人の救済に当てられた。

◎由井正雪の乱（幕府転覆計画）（1651年慶安の変）→未然に防ぐ。幕府は頼宣がこの計画に加担したのではないかと疑うが・・・。幕府は以後浪人有和策へ。

参考文献 ○宗門女性のかがみ「養珠尼公お萬さま」 著者・元報恩寺貫主・長瀬日環。

○毒殺で読む式本史 著者・岡村青。

○解明日本史 著者・柴田実。

○加藤清正のすべて 著者・安藤英男。

○徳川妻妾記 著者・高柳金芳。

